

鎌倉日和

vol.37

給付金や補助金が利用できた前回の緊急事態宣言に対し、今回の緊急事態宣言は利用できる公的制度が少なく、対策に苦勞されている事業者様も多いのではないのでしょうか。

鎌倉日和 37号では、事業の強みをいかしてコロナに負けず努力を続ける企業様のご紹介と、コロナ渦で有効な取り組みとして「商標登録の備え」についてお伝えしたいと思います。

また、3月から申請の受付が開始される「事業再構築補助金」について簡単にご紹介します。



逗子ブランドのお客様

株式会社 sun & beach 様

● 子どもとの毎日を楽しく、大切に ●

赤ちゃんを抱っこしながら海岸を散歩する・・・株式会社 sun&beach 様は、そんな湘南らしいライフスタイルにぴったりのベビーキャリアを手がけています。



代表取締役の齋藤美衣さんは3児の母。ご自身の子育て中に自作したおんぶ紐を原型に、専門家や縫製工場の協力を得て、可愛く、高品質なベビーキャリアを作り上げました。時代のニーズやユーザー

の声を取り入れながら改良を重ね、今も進化を続けています。緊急事態宣言の最中ということもあり、zoom でお話をうかがいました。

● コロナ渦でも負けない強み ●

コストがかからないという理由で、オンラインショップからスタートした sun&beach 様。早い段階からネットで話題となり、事業を軌道に乗せることができたそうです。また、実際に使ってくれた方がギフトとして購入してくれたり、友人や家族に勧めてくれたり

など、宣伝広告費をほとんど投資することなく、口コミで順調に売上を伸ばしてきました。今でこそ百貨店や直営店でも販売していますが、現在も売上の9割はオンラインショップです。



そのため、百貨店が休業となっても全体としての影響は大きくなかったそうです。

また、日本はおんぶ紐の普及率が世界 NO.1 であり、おんぶをしながら家事をするという文化が昔からあります。外出自粛になったからといって家事をしないわけにもいかない中、赤ちゃんのいる家庭にとって、おうち時間の必要不可欠なアイテムとして自然に受け入れられているのではないかと、齋藤さんは語ってくれました。

● 日本の素晴らしい技術と文化を世界へ ●

ベビーキャリアの製作は工程が多く、高い技術力も求められます。そのため、一箇所の工場ですべて完結させることが難しく、全国にある提携の工場でたくさんの職人によって一つ一つ丁寧に仕上げられています。「自分たちより職人さん達の方がプロなので、新製品をつくる時などには裁断の仕方、縫い方などをディスカッションしながら一緒に作り上げているんですよ」と笑顔で語る齋藤さんからは、職人や日本の技術への尊敬・信頼の気持ちがにじみ出ているように見えます。



テキスタイル（布地）も全て日本製で、伝統的な素材や、若い日本人デザイナーのものを使用しています。齋藤さんは、



日本の技術だけでなく、その想いを積極的に海外に発信したいと考えているそうです。

日本では「虫が付かず丈夫でまっすぐに成長する麻」にあやかって、産着に麻の葉模様をほどこす慣わしがあります

が、乳児を成長の祈りで包むのはベビーキャリアも同じです。

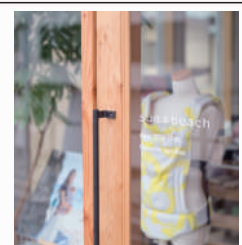
これは日本の文化ですが、製品に対する誠実な姿勢、そして、我が子に対する「祈り」は全世界共通だと齋藤さんは言います。そう語る齋藤さんもまた、日本の職人であり、技術の承継者なのだとして強く感じられました。

当事務所は sun&beach 様の商標登録、意匠登録のお手伝いをさせていただきましたが、知的財産の保護というのは、出願人様の誠実な事業や技術を権利として明文化するという側面があります。

齋藤様のブランドへの愛情・誇りや事業の未来を知財の面から守るお手伝いをさせていただけることを、わくわくするとともに気が引き締まる思いがしました。

株式会社 sun & beach

神奈川県逗子市逗子 7-3-49-2F
TEL : 046-873-1748
e-mail : info1@sun-beach.jp
営業時間：火 - 土 10:00-17:00
定休日：日曜日・月曜日
<http://www.sun-beach.jp/>



商標登録は事業者のワクチン

● 商標登録の機能 ●

新型コロナウイルスが猛威を振っている中、期待されるのがワクチンです。知的財産権もワクチンに見立てることができます。商標登録には大きく2つの機能があります。

- ①ブランド名を他社がマネすることを禁止できる機能
- ②ブランド名を使い続けられる機能

①の機能は比較的良好に知られていますが、実は②の機能が今回ご紹介するワクチンに相当する機能になります。つまり、自社がブランド名の商標登録を持っていれば、他社から文句を言われることなく使い続けることができ、ブランドを育てる上で、なくてはならない機能なのです。

当事務所では、お客様（A社）のブランド名に似ている名称を使用している企業（B社）に使用中止や損害賠償を求めることがあります。これは、A社の商標登録の①の機能です。

その結果、B社は、ホームページやカタログで社名を表示できなくなり、法人登記まで変更することになったケースもあります。B社がもし事前に商標登録を受けていたら、この結果は回避できたはずですが、これが、商標登録のワクチンに相当する②の機能です。



● コロナ禍の今こそ備えを ●

商標トラブルに巻き込まれると事業への打撃は大きく、築いてきたブランド価値も損なわれてしまいます。コロナ禍に商標トラブルが重なるようなことがあれば、そのダメージは図りしれません。

この状況で考えるべきは、何とかコロナ禍を乗り切り、その後の好況を見越してブランドを育てるための備えをすることではないでしょうか。ウイルスも事業のリスクも目に見えません。また、ワクチンは現在の問題を解決するものではなく、将来の問題を予防するものですので、やはり効果が見えにくいところがあります。

しかし、目に見えなくとも、ウイルスも事業リスクも確実に

に存在しています。積極的な事業展開がしづらい今だからこそ、商標登録を手当てし、ブランドを育てるための備えをしておくべきです。

それは事業を守るだけでなく、コロナ禍を越えた後に円滑な事業展開につながる大変有効な取り組みになるでしょう。

事業再構築補助金のご紹介

● 知的財産権の費用も補助対象 ●

緊急事態宣言の再発令に伴う支援措置として経済産業省より事業再構築補助金が発表されました。商標登録や特許などの知的財産権を導入するための費用も補助対象となりますのでぜひ活用ください。

詳細は経済産業省のHPでご確認いただけます。

https://www.meti.go.jp/covid-19/jigyosai_koutiku/index.html

【対象者】

1. 申請前の直近6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している中小企業等。
2. 事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む中小企業等。
3. 補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加の達成。

【補助額：中小企業】

通常枠 100万円～6,000万円 補助率 2/3

卒業枠 6,000万円超～1億円 補助率 2/3

【補助額：中堅企業】

通常枠 100万円～8,000万円 補助率 1/2（4,000万円超は1/3）

グローバルV字回復枠 8,000万円超～1億円 補助率 1/2

【補助対象経費】

技術導入費（知的財産権導入に係る経費）、建物費、建物改修費、設備費、システム購入費、外注費（加工、設計等）、研修費（教育訓練費等）、広告宣伝費・販売促進費（広告作成、媒体掲載、展示会出展等）等

ブランドのタネ

鎌倉日和 36号でご紹介した、当事務所のPR動画が完成しました。

「何をしてくれるのか良く分からない」「難しそう」「堅苦しそう」という特許事務所のイメージを払拭するための動画プロジェクト第一弾です。

これに続き、知的財産にまつわる様々な話題を取り上げた動画を制作していこうと考えています。

事業者の皆さまにとって、ブランドのタネとなるよう

わかりやすくご説明していきたいと考えています。

どうぞご期待ください！

<https://youtu.be/L9Q9xkvnwDc>



こちらのQRコードを読み取ると視聴いただけます。



SHOUSEI International Patent Office

将星国際特許事務所

〒248-0006

神奈川県鎌倉市小町2-11-14 山中MRビル3F

TEL : 0467-73-8540 (平日10:00～16:00)

FAX : 0467-73-8541

Email : info@shousei.jp

URL : <https://shousei.jp/>

